

概要説明書

概要説明書(その1)

概要説明書(その1)		※登録No.	1802001A		
新技術の名称	バスク工法wide	※登録年月日	H31.3.5申請情報		
		※変更登録年月日			
副題	ポリマーセメントモルタルによる既設モルタル面の補修・保護工法	開発年月	2014.9		
申請概要					
申請者	会社名	株式会社 FURUNO			
	住所	〒806-0048 福岡県北九州市八幡西区樋口町3-9			
開発者	会社名	株式会社 FURUNO			
	住所	〒806-0048 福岡県北九州市八幡西区樋口町3-9			
従来技術と比べ優れている点	既設モルタル面を撤去することなく、小型専用機械での一連の施工により、薄層で広範囲な施工が可能であり、作業性、安全性及び経済性の向上が期待できる。				
NETISへの登録状況	<input checked="" type="checkbox"/> NETIS登録している				
	工種区分(レベル1、2まで記入)	登録年月日	登録番号	評価結果	
	共通工・法面工	2018.7.19	QS-180015-A		
新技術・新工法の分類					
区分	<input checked="" type="radio"/> 工法 <input type="radio"/> 材料 <input type="radio"/> 機械 <input type="radio"/> 製品 <input type="radio"/> その他				
分類	分類1	分類2	分類3	分類4	
	共通工	法面工			
キーワード (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 施工精度の向上 <input type="checkbox"/> 耐久性の向上 <input checked="" type="checkbox"/> 安全性の向上 <input checked="" type="checkbox"/> 作業環境の向上 <input checked="" type="checkbox"/> 環境保全 <input type="checkbox"/> 地球環境への影響抑制 <input type="checkbox"/> 省資源・省エネルギー <input type="checkbox"/> 品質の向上 <input checked="" type="checkbox"/> 建設副産物の排出抑制 <input checked="" type="checkbox"/> 経済性・生産性の向上 <input checked="" type="checkbox"/> 工期短縮 <input checked="" type="checkbox"/> 施工性向上 <input type="checkbox"/> 伝統・歴史・文化 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()				
問合せ先	技術	会社名	既設モルタル再生工法研究会(株式会社FURUNO)		
		担当部署	技術部		
		担当者	渡邊 賢		
		住所	〒806-0048 福岡県北九州市八幡西区樋口町3-6		
		Tel	093-632-8860		
		Fax	093-632-8861		
		E-mail	info@bask-jimukyoku.com		
	ホームページURL	http://bask-jimukyoku.com			
	営業	会社名	既設モルタル再生工法研究会(株式会社FURUNO)		
		担当部署	技術部		
		担当者	渡邊 賢		
		住所	〒806-0048 福岡県北九州市八幡西区樋口町3-6		
		Tel	093-632-8860		
		Fax	093-632-8861		
E-mail		info@bask-jimukyoku.com			
ホームページURL	http://bask-jimukyoku.com				

※の欄は、記入の必要がありません。

概要説明書(その2)

新技術の名称	バスク工法wide	※登録No.	1802001A
新技術の概要 ※検索結果に表示する技術の概要です(全角120文字以内)			
バスク(ポリマーセメントモルタル)を用いて、既設モルタル面等の老朽化、劣化に対し、全面を被覆し、長寿命化を図る工法である。既設モルタル面の剥ぎ取りを行わないため、工期短縮や、産業廃棄物の発生を抑制できる。			
新技術の概要			
①何について何をする技術か？ 老朽化したモルタル・コンクリート面を生かし、補修を行うことにより長寿命化させることができる保護工法			
②従来はどのような技術で対応していたか？ 吹付法面とりこわし工+モルタル吹付工8cm			
③公共工事のどこに適用できるか？ 既設のモルタルコンクリート面の補修・保護			
新技術のアピールポイント(課題解決への有効性)			
専用機械での一連の施工により、薄層で広範囲な施工が可能であり、作業性、安全性及び経済性の向上が期待できる。			
新規性及び期待される効果			
①どこに新規性があるのか？(従来技術と比較して何を改善したのか？) バスク(ポリマーセメントモルタル)を用いて、既設モルタル面等の老朽化、劣化に対し、全面を被覆し、保護・延命を図る。小型専用機械により、安定した材料の供給ができ、広範囲に吹付補修が可能となる。			
②期待される効果は？(新技術活用のメリットは？) 既設モルタル面の剥ぎ取りを伴わないため、産業廃棄物の発生を抑制でき、工期の短縮及び経済性の向上が期待できる。			
適用条件			
①自然条件 既設モルタル面に湧水が流れている場合は、湧水処理ができること。 地山の影響で開口亀裂等が発生していないこと。			
②現場条件 機材や材料を仮置きできる2m×6m程度の面積のスペースがあること。			
③技術提供可能地域 福岡県全域			
④関係法令等 特になし。			

※の欄は、記入の必要がありません。

概要説明書(その3)

新技術の名称	バスク工法wide	※登録No.	1802001A
適用範囲			
<p>①適用可能な範囲（公共工事への適用性は必ず記入する。） 老朽化した既設モルタル、コンクリート面（例：吹付面の風化、微細クラックの発生等）</p> <p>②特に効果の高い適用範囲 既設モルタル剥ぎ取りが不可能な長大法面。 大型機械の搬入が出来ない現場。 工期短縮が要求される現場。</p> <p>③適用できない範囲 雨水、湧水の事前処理が完全に出来ない場合。</p>			
ニーズへの対応			
<p>①社会的ニーズへの対応 剥ぎ取りが不要であるため、産業廃棄物処理費の低減および周辺環境への影響が緩和できる。 既設モルタル剥ぎ取りにおいて、仮設防護柵が不要なため、夜間の交通規制が不要である。</p> <p>②県土整備部発注工事への対応（道路、河川、ダム、港湾、海岸、砂防、地すべり、急傾斜地に関する事業） 県土整備部発注の道路分野、急傾斜地の工事に対応可能です。</p>			
留意事項			
<p>①設計時 補修対象面に発生しているひび割れや、背面空洞の有無をあらかじめ調査しておく。</p> <p>②施工時 吹付、コテによる仕上げのいずれの場合も必ず2mm以上の厚さを確保する。 （バスク工法wide 設計・施工の手引きを参考にする。）</p> <p>③維持管理時 特になし。</p> <p>④その他 材料は、受注生産とし、納入まで2週間程度である。</p>			

※の欄は、記入の必要がありません。

概要説明書(その4)

新技術の名称	バスク工法wide			※登録No.	1802001A
活用の効果					
比較する従来技術	吹付法面とりこわし工+モルタル吹付工8cm				
項目	活用の効果			比較の根拠	
経済性	<input checked="" type="radio"/> 向上 (46%)	<input type="radio"/> 同程度	<input type="radio"/> 低下 ()	既設モルタル面の剥ぎ取りおよび産業廃棄物が発生しない。	
工程	<input checked="" type="radio"/> 短縮 (49%)	<input type="radio"/> 同程度	<input type="radio"/> 増加 ()	既設モルタル面の剥ぎ取りが不要であるため、工程は短縮する。	
品質	<input type="radio"/> 向上	<input checked="" type="radio"/> 同程度	<input type="radio"/> 低下		
安全性	<input checked="" type="radio"/> 向上	<input type="radio"/> 同程度	<input type="radio"/> 低下	大規模プラントや、既設モルタル面剥ぎ取りに必要な大型重機の使用が不要となるため、安全性は向上する。	
施工性	<input checked="" type="radio"/> 向上	<input type="radio"/> 同程度	<input type="radio"/> 低下	大規模プラントや、既設モルタル面剥ぎ取りに必要な大型重機の使用が不要となるため、施工性は向上する。	
環境保全	<input checked="" type="radio"/> 向上	<input type="radio"/> 同程度	<input type="radio"/> 低下	剥ぎ取りによる騒音・振動等がなく、周辺環境への影響は少ない。	

基準数量	1,000		単位	m ²
	新技術(A)	従来技術(B)	変化値1-A/B(%)	
経済性	7,502,000 円	13,828,873 円	46%	
工程	24 日	47 日	49%	

※の欄は、記入の必要がありません。

概要説明書(その5)

新技術の名称		バスク工法wide			※登録No.	1802001A
活用の効果の根拠						
●新技術の内訳				基準数量: 1,000㎡ あたり		
項目	仕様	数量	単位	単価(円)	金額(円)	摘要
法面洗浄工A	高圧洗浄25MPa	1,000	㎡	617	617,000	2018年度協会歩掛
クラック拡張工	Uカット 幅10mm×深さ15mm	1,000	m	1,450	1,450,000	2018年度協会歩掛
クラック補修工	下地処理(スーパーボンド)中詰め(バスク)	1,000	m	769	769,000	2018年度協会歩掛
法面洗浄工B	高圧洗浄25MPa	1,000	㎡	307	307,000	2018年度協会歩掛
表面下地処理工	スーパーボンド	1,000	㎡	678	678,000	2018年度協会歩掛
表面被覆処理工	特殊樹脂モルタル	1,000	㎡	3,681	3,681,000	2018年度協会歩掛
合計					7,502,000	
●従来技術の内訳				基準数量: 1,000㎡ あたり		
項目	仕様	数量	単位	単価(円)	金額(円)	摘要
吹付法面取り壊し工	取り壊し、運搬、投棄含む	1,000	㎡	3,547	3,547,000	
モルタル吹付工	法面整形+吹付厚8cm	1,000	㎡	6,588	6,588,000	
仮設防護柵工	H-250 高さ5m	80	m	35,968	2,877,440	
復旧工	舗装	41	㎡	19,913	816,433	
合計					13,828,873	

※の欄は、記入の必要がありません。

概要説明書(その6)

新技術の名称	バスク工法wide		※登録No.	1802001A
施工単価	<input type="radio"/> 歩掛りなし	<input checked="" type="radio"/> 歩掛りあり	(歩掛り種別)	<input type="radio"/> 標準 <input type="radio"/> 暫定 <input checked="" type="radio"/> 協会 <input type="radio"/> 自社
・モルタル面補修工 法面洗浄工A:617円/m ² 法面洗浄工B:307円/m ² クラック拡張工:1,450円/m クラック補修工:769円/m 表面下地処理工:678円/m ² 表面被覆工:3,681円/m ² 合計7,502円/m ²				
施工方法				
・バスク工法wide 1法面洗浄工A 2クラック拡張工 3クラック補修工 4法面洗浄工B 5表面下地処理工 6表面被覆処理工				
残された課題と今後の開発計画				
①課題 技術講習会等の開催を行い、技術の向上と講習終了証の交付を行う。				
②計画 検討中				
施工実績	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし			
福岡県が発注した工事	0	件		
他の公共機関が発注した工事	4	件		
民間等が発注した工事	1	件		

※の欄は、記入の必要がありません。

概要説明書(その7)

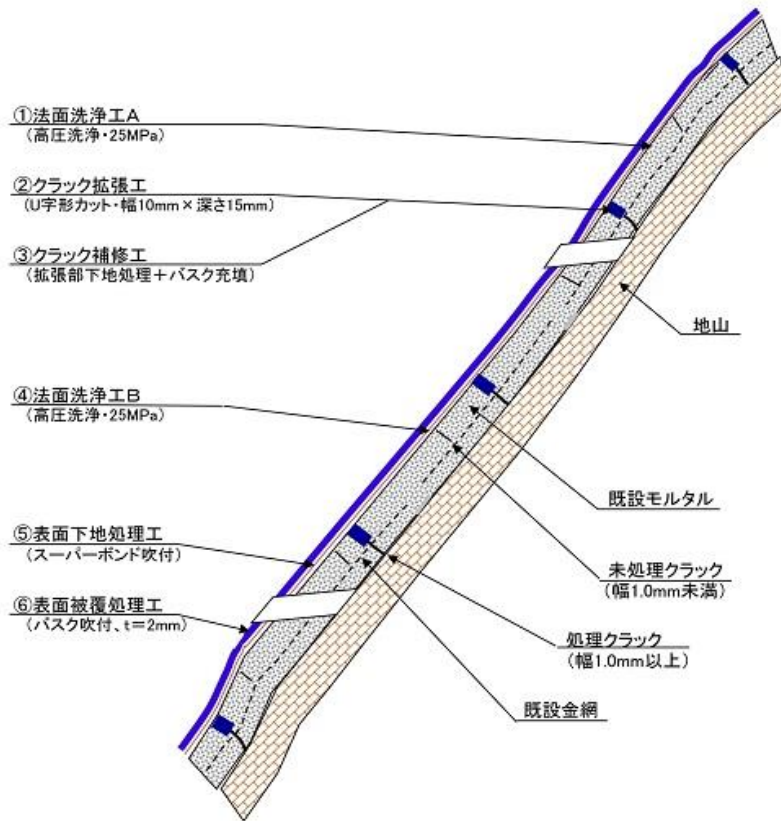
新技術の名称	バスク工法wide				※登録No.	1802001A
特許・実用新案					番 号	
特 許	<input checked="" type="radio"/> あり	<input type="radio"/> 出願中	<input type="radio"/> 出願予定	<input type="radio"/> なし	特許第4891062号	
実用新案	<input type="radio"/> あり	<input type="radio"/> 出願中	<input type="radio"/> 出願予定	<input checked="" type="radio"/> なし		
他の機関による 評価・証明	証明機関					
	制度名					
	番号					
	評価等年月日					
	証明等範囲					
	URL					
添付資料						
<p>○実験資料等 添付資料1(熊本大学 凍結融解試験、建研式付着力試験、追跡調査)</p> <p>○積算資料等 添付資料2(バスク工法wide 標準積算資料)</p> <p>○施工管理方法資料等 添付資料3(バスク工法wide 設計・施工の手引き)</p> <p>○出来形管理方法資料 添付資料3(バスク工法wide 設計・施工の手引き)</p> <p>○その他 特になし</p>						
参考資料						

※の欄は、記入の必要がありません。

新技術の名称	バスク工法wide	※登録No.	1802001A
--------	-----------	--------	----------

概要図、写真等

模式断面図



※全面を被覆することで、劣化原因となる水の浸入等を防止できる。

※の欄は、記入の必要がありません。

概要説明書(その9)

新技術の名称		バスク工法wide		※登録No.	1802001A
施工実績一覧					
区分	発注者	地域機関名	施工時期	工事名	CORINS登録No.
県内における 施工実績					
県外における 施工実績	熊本県	県南広域本部	2018.8	宮原五木線(A051)防災安全交付金 (災害防除)工事 他合併	4033884149
	上智学院	民間	2018.9	広島学院南側境界整備工事(擁壁補 強工)	
	島根県	雲南県土整備 事務所	2018.9	湖陵掛合線松笠工区 防災安全交 付金(法面修繕)工事	4033270596
	岡山県	備中県民局	2018.9	122-24-1単県 道路工事(法面工)	4033676283
	広島県	西部建設事務 所	2018.9	一般国道186号外 道路災害防除工 事	

※の欄は、記入の必要がありません。